

令和2（2020）年度 事業報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク

I. 総括

令和2（2020）年度事業計画は、電話相談事業を引き続き円滑な運営を行うこと、相談技術の向上、一部修正した受付ソフトの入力やデータ処理の充実、さらに今後の大阪府における小児救急医療や子育てに貢献できるよう、体制の強化や他団体と連携して活動することを目標とした。しかし、COVID-19感染の影響を受けて、計画修正やデータ収集など想定外の対応に追われた1年であった。

以下の3点に集約された目標は、ある程度達成された。

1. 電話相談事業の充実を図る
2. 電話相談からの知見を活用し、小児救急に関する啓発を行う
3. NPO法人としての活動を強化する

2020年4月から入力ソフトを一部改正した。全体の中では1部であり、従来より懸案の項目であったことから、入力については特にトラブルもなく、作業の流れや情報収集も良くなった。#8000の時間を広げてほしいとのが大阪府に届いていたことや#7119のこどもの相談が19時台がピークであったことなどを受けて、10月から19時開始とした。19時台の相談は全体の15%と20時・21時台に次いで多く、20時台の比率は低下したことから、ニーズに合っていたと考えられた。年間を通して、コロナウイルス感染関連の相談は全体の1.5～7%を占め、感染状況に従って相談内容は微妙に変化した。データは毎月大阪府に提示した。

1. 当団体の運営により、大阪府小児救急電話相談（#8000）事業を行った。小児の感染症が減ったことなどを受け、相談件数は43,774件と昨年度の71.8%であった。
2. （一社）大阪小児科医会にオブザーバーを依頼し、運営会議および医会会報上で意見交換を行った。
3. 入力ソフトの受付票の項目について、昨年度の見直しを受けて、4月より改正を行った。
4. コロナウイルス感染対策として緊急事態宣言下では、事務局職員の時短・テレワークを導入した。相談業務は、消毒や換気を行いながら継続した。
5. コロナウイルス感染関連の相談を拾い上げ、毎月集計を行ない、大阪府に報告した。
6. 新生児期の相談、特に生後第1週目の相談が増加していることが注目された。
7. 大阪府#8000の電話相談員の研修を年間4回行った。
8. 初期救急医療機関を対象に、住所・名義変更に関するアンケートを行い、回収した。
9. #8000全国情報センターに12月～2月分の相談に関するデータを提供した。
10. 事務所のパソコンを新規購入し、作業効率の改善に努めた。

2020年度の課題としては以下が挙げられた。

1. 入力ソフトの改正した項目の結果は、直後からではなく10月からデータに反映された。
2. コロナウイルス感染のデータ収集に際し、事務局の負担が大きかった。
4. 薬に関する相談・小児内科以外の診療科の受け入れなど懸案事項は取り組めなかった。

5. 初期救急医療機関のアンケート回収は良好であったが、輪番体制や曜日変更などの情報が事前に入手できなかった。
6. 新生児期の相談に対し、相談対応や新生児のケアなど今後の取り組みが必要と考えられた。

II. 各事業報告の詳細

(1) 小児救急等に関する相談事業

①大阪府小児救急電話相談（#8000）事業

大阪府小児救急電話相談の運営を円滑に遂行することができた。準夜帯4回線深夜帯2回戦を維持し、10月から19時開始とした。小児感染症減少などの影響を受け相談件数は前年度より減少し、年間総件数43,774件を行った。

②相談受付票の電子化事業

入力ソフトの受付票の項目を改正し、特にトラブルはなく、入力および情報収集は良好となった。

③（一社）大阪小児科医会にオブザーバーを依頼し、年2回の運営委員会での意見交換に加えて、2019年度の相談事業のまとめについて医会の会報上でも意見交換を行った。

(2) 普及啓発事業

①小児救急電話相談に関する普及啓発事業

ホームページの充実として、会員ページに研修内容やデータを掲載し、保護者や一般を対象に子どもの見方についてのコラムを掲載した。

②小児救急に関する講座・講師紹介事業

保護者の家庭看護力向上や保育士を対象にした発信を行った（表1）。

表1. 2020年度講演・講座など一覧表

月日	研修・講演会名	場所	内容
5月23日	NHK「すくすく子育て」 【教えて！子どものケガの手当て】	東京都	TV放映
10月20日・1月26日	西宮市ファミリーサポートセンター	西宮市	保育サポーター研修
10月17日・24日・31日	大阪府社会福祉協議会「アウトリーチ型研修」 感染症対策と心のケア	茨木市	保育職員研修

(3) 人材養成事業

①電話相談員研修事業

大阪府#8000相談員を対象とした電話相談の研修は、年間6回を計画していたが、表2に示すように前半は開催を中止し、後半に4回開催した。うち3回は、ZOOMによるWEBを併用したハイブリッド形式で研修を行った。WEBでの参加者が多く、例年より参加者は増加した。外部講師として、松川先生には泌尿器科系の話題を、佐久間先生には痙攣についての話題をお話いただき、好評であった。

表2. 2020年度相談員研修報告

開催日	場所	研修内容	講師	参加人数
8月1日	たかつガーデン (大阪府教育会館) ZOOM	～相談員が知っておきたいこと～ 男児のちんちん・タマタマ・陰囊、女児 の陰唇の悩み相談に全部お答えします	中野こども病院 小児外科 松川康廣先生	40名 (会場13、 WEB27)
11月14日	大阪市社会福祉センター	新人研修	福井聖子	9名
12月19日	たかつガーデン (大阪府教育会館) ZOOM	～相談員が知っておきたいこと～ 痙攣？悪寒？反射？	大阪市立大学小児科 佐久間 悟先生	38名 (会場10、 WEB28)
2月27日	たかつガーデン (大阪府教育会館) ZOOM	令和2年度のまとめ	福井聖子	15名 (会場3、 WEB12)

②電話対応研修事業

クリニック受付事務職・看護師等対象に研修事業を開催予定であったが、コロナ感染拡大の状況下、開催を中止した。

(4) 調査・研究事業

①電話相談内容の分析事業

2020年度小児救急電話相談実績報告書において、年度のまとめを作成した。(一社)大阪小児科医会の会報194号に年度報告を、196号に大阪小児科医会救急委員会委員のオブザーバー2名との意見交換の記事「オブザーバーとの往復書簡」を掲載した。日本外来小児科学会に報告予定であったが、開催中止のため、ワークショップ・報告ともに中止した。

②新生児期の相談について

第67回日本小児保健協会学術集会上に「新生児について保護者からの相談内容の分析 ～大阪府小児救急電話相談(#8000)事業～」の演題発表を行った。

III. 社員総会の開催状況

第6回通常総会 2020年5月23日(土曜日) 13:30～14:30

場所：上本町事務所 社員総数：45名 出席者数：38名(うち委任状出席者33名)

内容：1. 2019年度事業報告・会計報告について

2. 2020年度事業計画・事業予算について

3. その他

以上について、承認を得た。

IV. 理事会その他の役員会の開催状況

理事会

2020年8月22日(土曜日) 16:30～17:30

場所：上本町事務所 出席：理事5名・監事1名

1. 2019年度事業報告・会計報告について

2. 2020年度事業計画・事業予算について

3. その他

定例会

毎月1回 理事長と事務局職員で進捗状況を確認。